

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	外国語とその運用（中）		
英文授業科目名	Foreign Languages and Practice		
開講年度	2009年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	范 建明		
居室	東1-514		

公開E-Mail	授業関連Webページ
fanming@buanka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
中国語を早く読むことによって中国語を話せる脳や筋肉のスピードを上げましょう！

【前もって履修しておくべき科目】
中国語演習
中国語運用演習

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
中国語演習
中国語運用演習

【教科書等】
中国語実習コース 張乃方著 (生協でお買い下さい)

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

中国語を学び始めて早くも2年か3年。発音も基礎語彙も基礎文法も一通り勉強したけど、簡単な日常的な事でさえ中国語で話せない。どうしたら話せるのかな。この授業は、このような悩みを抱えながら、もっともっと中国語を学びたい3・4年生のためのものです。話せるためには、語彙の量や基礎文法、常用文型も勿論重要ですが、実は話す・聞くスピードのほうがより重要なのです。この授業を通して中国語脳や筋肉のスピードを上げていきます。具体的に言えば、教科書の本文を読む材料として読み慣れ 早読みの反復練習という方法を使ってスピードのある中国語バージョンの脳をつくることです。それが出来上がったときは即ち中国語を自由に話せる日です。一緒に創ってみませんか。より良い結果を追求するために、履修者の現有レベルによって2、3のグループに分かれて指導します。一年間粘り強くトレーニングをすれば、自分も驚くほど中国語を話せるようになります。期末のペーパーテストはやりません。そのかわりに普段は出来るだけ中国語での会話や発表をやってもらいます。前期後期の期末は、中国語で文章を書いてもらって、先生が添削してから、クラスで発表してもらいます。

教科書の主なテーマは次の通りです。自己紹介 家族 父母 友達 住居 通勤通学 飲み物 休日 送り迎えー電話の会話 病気 旅行 手紙 天気 繁華街 スポーツなどで、いずれもきわめて身近な材料ばかりです。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

日課として毎日20分程度本文の早読みをしてほしいです。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：

期末試験および小テスト・宿題の結果を、次のように総合評価します。

成績評価 小テスト・宿題 50%
期末試験 50%

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって最低達成基準とします。

試験成績が60点に達すること。

実用中国語技能検定4級以上合格者に対して有利に考慮します。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けませんが、火曜日の1300～15:00の間が望ましいです。

【学生へのメッセージ】

1年、2年、そして3年続けて中国語を勉強する情熱はまず評価したいです。その情熱をもって一緒に楽しく勉強しましょう。常にチャレンジ精神で授業に参加してください。中国への短期留学経験のある学生は中国語のゼミの参加にも大歓迎。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【その他】

無断欠席、遅刻しないように！